

= Match Report =

平成29年度 栃木県高校総体兼第60回 関東高等学校サッカー大会県予選会

準決勝

2017年 5月 13日 (土)

10:30 kick off 会場(栃木県グリーンスタジアム)

さくら清修高校

vs

宇都宮

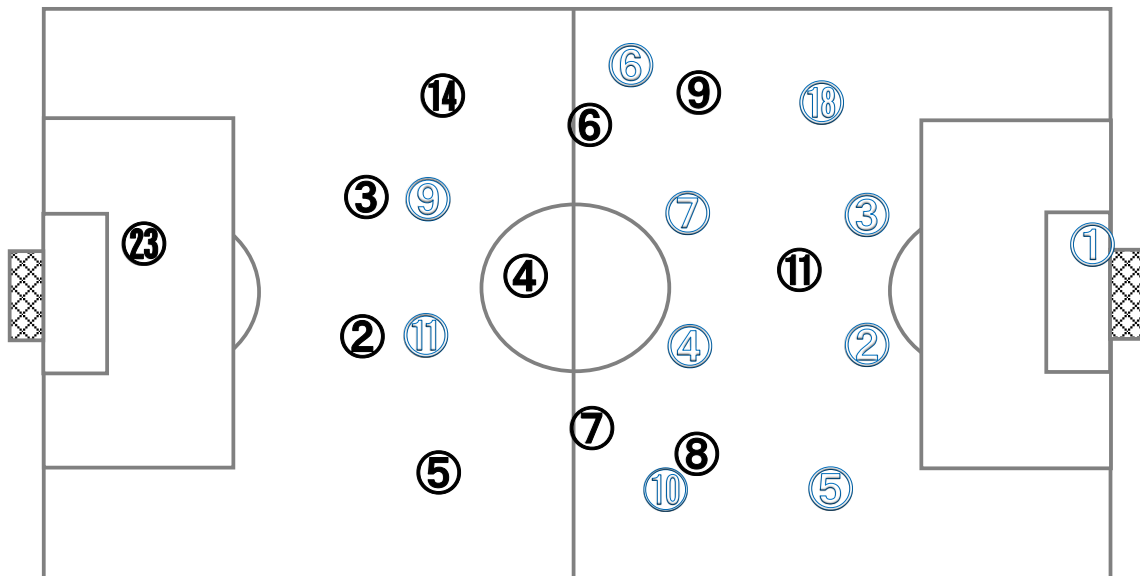
1	1	-	0	0
	0	-	0	
	-	-	-	
	-	-	-	
	PK			

さくら清修高校

宇都宮高校

基本システム 1 - 4 - 5 - 1

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

関東大会本選の代表権をかけた準決勝戦。雨でピッチコンディションの悪い中、シード校さくら清修1-4-5-1システム、宇都宮1-4-4-2システムでスタートした。立ち上がりはお互いにDFラインからのロングフィードを中心に縦型の展開となる。開始7分、さくらが左サイドで得たFKをDF②君島がうまく頭で合わせて先制ゴールを奪う。一方、宇都宮はDFラインから2トップへの配給が多く、若干間延びをしてしまった。しかしながらFW⑩にうまく入った時は中盤で前向きの選手を作り、ミドルシュートを主体にゴールを目指した。特に左サイドMF⑩高橋はテクニックがあり攻撃の起点となっていた。前半を総括すると両チームともにピッチが悪い中でも積極的にDFラインを高く保ちながら守り、攻撃ではノージャッジで縦に入れることなくボールを運ぶ意識が窺えた。

後半立ち上がり、さくらはスピードのあるFW⑩高橋を投入し、積極的にボールを奪いに行く。一方宇都宮はFW③陣内、MF②今村を投入し、攻撃の活性化を図り、さくら陣内で試合を優位に進める。特に今村はFWへの質の高いパスやドリブルでの仕掛けでチャンスメイクし、中盤に落ち着きを与えた。一方さくらはPA付近でのファールが目立ち、宇都宮にチャンスを与える場面が増えたが、粘り強い守備で跳ね返し、最後の場面ではGK③菅沼が体を張りゴールを許さずに1-0で試合が終了した。宇都宮は幾度となく決定的な場面を作ったがセットプレーの精度が低く、最後の場面の崩しに課題が残った。一方、関東大会初出場を果たしたさくらは、後半に課題が残った。自分たちの時間をさらに増やすために中盤での運動量と流動性が求められるのではないだろうか。明日の決勝戦へ向けてコンディションを整え臨んでほしい。

記載責任者 所属(矢板高等学校) 氏名(高井 剛)